



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.50 2013年8月5日発行

(医)真康会 整形外科鳴嶋クリニック
〒594-0071 和泉市府中町7-2-5
□イヤルフラット和泉1F
TEL0725-43-8088 FAX0725-43-8010

巻頭言

市整会副会長 増田 博

市整会会員の先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は市整会発展のため、ご指導、ご協力をいただきありがとうございます。

また、役員の方におかれましては市整会の行事の運営にご尽力をいただきありがとうございます。

鳴嶋会長のもと市整会学術担当副会長をしております整形外科クリニック増田博です。

この会報が届くころには夏本番となっているのですが、原稿を書いている今は梅雨に入ったものの、なかなか雨が降らずやっとなんども台風4号等の影響もあって、局地的な大雨が降ったというニュースが流れています。

世の中参議院選挙のことが話題となっています。この会報が届くころには選挙の結果も出ているかもしれませんが、日本医師会の推薦している組織内候補が無事当選していればいいのですが、どうなっていることでしょうか。過去2回、日本医師会の推薦する組織内候補が落選しています。そのため政治の世界で日本医師会の発言力が落ちてきています。それに比べ、日本薬剤師会、日本看護協会は組織内候補を当選させていて、発言力があります。たとえば生活習慣病薬のスイッチOTCとしてエパデールが承認され、薬剤師のもと医師の処方箋がなくても買うことができるようになったり、特定看護師が誕生し、今まで医師にしかできなかった業務を特定看護師ができるようになってきました。つまり医師だけにしかできなかった業務が、今まで行ってきた守備範囲が他の職種に取られていくようになっていきます。この流れを止め

るためには医師会の代表をたくさん政治の場に送り出すことが大事です。わたくしは、最近まで医師が政治のことに口出しをするというのはよくないことだと考えていました。医師は診療だけをしていたらいいのだ。政治のことは政治家に任せていけばいいのだと考えていました。でも、最近では違います。医師、医学界のことをきっちり考えて医師の考えを代弁してくれる人が必要だと考えています。そうでないと、医師は政治家にうまく使われるだけになってしまうと思います。本業がおろそかになってしまっはいけません、皆さん、もっと政治の動きに目を光らせましょう。

政治に目を向けるといろいろなことがわかってきます。厚生労働省は、虎視眈々と医師をコントロールしようとしています。また財務省は何とか医療費を抑制しようと躍起になっています。決して、患者さんの事、国民のことを考えて動いているわけではありません。自分たちの権力を強めたいため、またお金のためだけに政策を考えてきている節があります。先生方をお願いいたします。自分の目で見て、自分の耳で聞いて、いろいろなことを判断しましょう。

話は変わりますが、先生方は健診を受けているのでしょうか？血液検査ぐらいは自院でしているかもしれませんが、毎年必ず健診を受けましょう。私たちは個人事業主です。会社の社長さんではありません。会社の社長さんであれば、たとえ、休んでも代わりに仕事をしてくれる人は副社長をはじめたくさんいます。社長は頭を使って、指示を出せば、社長自ら汗を流して動くことをしなくてもいいです。ところが我々は個人事業主なので、

(2)

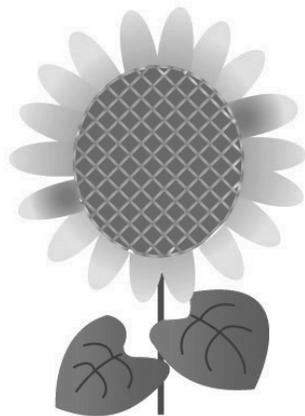
自分で動かないと店は回りません。先生方が休めば、診療所が動かなくなり、従業員も困ります。だからしんどくても休むわけにはいきません。病気になるわけにはいきません。だから病気を早期に発見することが必要です。府医師会の健診、人間ドック等なんでもいいですから受けましょう。私は府医師会の健診をこの数年間、家内と受けています。また胃の調子が悪いなと感じたら近くの診療所で胃カメラ検査を受けています。ある時、胃の調子が悪かったので、きっと何か異常があると思い、胃カメラの検査を受けました。結果は何

もなかったのですが、このことを、家内にメールで知らせると、「よかったね、これでまた安心して飲めるやん」というメールが返ってきました。

これからが夏本番です。最近では、熱中症という言葉をよく聞くようになりました。先生方、健康管理には十分気を付けましょう。

最後になりましたが、今年度も、家族会を始め、市整会の行事への参加をよろしくお願ひいたします。

(編集追記：この原稿は選挙結果が判明する前にいただきました。)



平成25年度 市整会総会

平成25年4月27日 天王寺都ホテル 午後4時より 総合司会（斧出）

会長挨拶 鳴嶋会長

総会の成立について（斧出） 出席34名 委任状86枚 会員数202名

総会 議長 前野岳敏先生、副議長 南平克積先生

議題

報告事項

- 1、会員の動向について（斧出）
 - 2、平成24年度の事業報告（斧出）
 - 3、平成24年度会計報告（柳井）
- 40周年記念決算報告

協議事項

- 1、平成25年度の事業計画（斧出）
- 2、平成25年度予算案（柳井）
- 3、新年度の役員（案）について（鳴嶋会長）

IT委員会からの報告（森川）

ホームページ上の新しいコンテンツを開設したことを報告

（市整会ホームページの会員のページに、「周年行事の記録」「市整会行事予定カレンダー」「思い出写真貯蔵庫」を開設したことと、その使い方をスライドで解説）

長田明先生からのお願い

我々を応援してくれる医系議員が少ないので、梅村さとしさんを党派を超えて、応援していただきたいとのお願いがあった。

会員の動向について

名誉会員 奥田好彦先生 昭和17年7月4日生まれ

黒田晃司先生 昭和17年5月7日生まれ

新入会 豊永 浩先生（平成7年入局）昭和42年7月20日生

整形外科はぶクリニック 大阪市東住吉区北田辺4丁目16-1

飯田高広先生（平成14年入局）昭和50年10月20日生

整形外科 たかひろクリニック 兵庫県西宮市瓦林町20番11号

退会者 本年度は、死亡退会も含めて、退会者は無し。

現在の会員数 202名 新入会を入れて204名

平成24年度事業報告

H24.04.14.（土）市整会総会 16時より

（出席者会員29名 非会員1名 演者1名 委任状89通）（非会員は同門の斎藤先生）

ホテルモントレグラスミア大阪 21階「ルピナス」（旭化成）

特別講演 座長：宮内 晃先生

『骨粗鬆症性椎体骨折においてADL低下に関与する因子はなにか』

(4)

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 松本富哉先生

H24.05.19. (土) 第1回40周年記念行事準備委員会 大東洋 (参加15名)

H24.06.23. (土) 学術講演会 16時より 天王寺都ホテル (共催: 田辺三菱製薬)

(参加111名 会員45名 同門会員25名 非会員41名)

学術講演「関節リウマチ治療のパラダイムシフト」 座長: 小竹志郎先生

大阪市立大学大学院医学研究科 リウマチ外科学 准教授 小池達也先生

学術講演「中高年の肩関節疾患～外来診療のポイント～」 座長: 飯田伊佐男先生

船橋整形外科病院 スポーツ医学センター

肩関節・肘関節外科部長 菅谷啓之先生

学術講演「超高齢社会における医学の課題～とくに先制医療を中心に～」

座長: 鳴嶋真人会長

財団法人 先端医療振興財団 理事長 井村裕夫先生

* 演題が3題のため、今回は、病院紹介は中止。

H24.07. 誌発行

H24.07.28. (土) 第2回40周年記念行事準備委員会 大東洋 (参加18名)

H24.07.29. (日) スケルトンゴルフコンペ 花吉野カンツリー倶楽部 (参加31名)

H24.09.08. (土) 第3回40周年記念行事準備委員会 17時より (参加12名) 帝人ホール

H24.09.08. (土) 理事会 帝人ホール 18時より (参加24名) (帝人ファーマ)

H24.10.27. (土) 第4回40周年記念行事準備委員会 15時より 梅田スカイビル (参加16名)

H24.10.27. (土) 市整会学術文化講演会 16時より 梅田スカイビル (日本臓器)

(参加40名、家族4名、非会員7名 合計51名)

学術講演 演題『宇宙飛行士の健康管理と整形外科的問題』座長: 増田 博先生

講師 防衛医大 公衆衛生、医療環境、宇宙医学 立花正一教授

文化講演 演題『ネバーギブアップ! 我がプロレス人生』 座長: 斧出安弘

講師 プロレスラー 藤波辰爾さん

H24.11.10. (土) 第5回40周年記念行事準備委員会 16時より (参加11名)

ANAクラウンプラザホテル

H24.11.18. (日) 市整会40周年記念式典 16時より ANAクラウンプラザホテル

(参加 ゲスト6名、会員59名、家族42名 合計107名)

H24.12.09. (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘カントリークラブ (参加28名)

H25.01.12. (土) 新年会 ANAクラウンプラザホテル (エーザイ)

(参加 講演会33名 新年会32名 ご家族15名)

学術講演『関節内軟部組織損傷を考察するー市大スポーツグループの方向性ー』

座長: 増田 博先生

講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 講師 橋本祐介先生

H25.03.09. (土) 市整会学術講演会 16時半より リーガロイヤルホテル大阪

(共催: 小野薬品) (参加141名 会員53名 同門会員30名 非会員58名)

学術講演1 『超音波画像を用いた整形外科3分診療の実際』 座長: 増田 博先生

講師 城東整形外科 診療部長 皆川洋至先生

学術講演2 『骨粗鬆症治療薬ラッシュの中での各製剤の包括的レビュー

ー正しく使い分けて骨折を予防するためにー』 座長: 佐藤 哲也先生

講師 東京大学 整形外科 准教授 川口 浩先生

病院紹介 東住吉森本病院 大嚙武夫先生

島田病院 島田永和先生

H25.03. 市整会40周年記念誌発刊 (市整会会誌との合併号)

H25.03.30. (土) 市整会理事会 16時より 堂島ホテル (参加13名) (久光製薬)

*平成24年度は、7月、8月予定の学術講演会は中止。

*家族会は、40周年記念行事のため中止。

平成25年度事業計画 (案)

H25.04.27. (土) 市整会総会 天王寺都ホテル 午後4時から (旭化成ファーマ)

学術講演 「関節軟骨の分化制御と機能維持」座長：増田 博先生

講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 病院講師 大田陽一先生

H25.06.08. (土) 市整会学術講演会 16時より 天王寺都ホテル (共催：田辺三菱製薬)

総司会 増田 博副会長 会長挨拶 鳴嶋真人先生

講演「関節リウマチの臨床」 座長 小竹志郎先生

講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 准教授 乾 健太郎先生

講演「プライマリ・ケアにおけるうつ病診療」 座長 飯田伊佐男先生

講師 東大阪市立総合病院 主席部長 岸田 学先生

講演「整形外科医に知って頂きたい神経内科疾患」 座長 宮内 晃先生

講師 京都府立医科大学附属北部医療センター センター長 中川正法先生

H25.06.22. (土) 市大最新整形外科研修セミナー

H25.07.
会誌発行

H25.07.28. (日) スケルトンゴルフコンペ 花吉野CC (10組確保している)

H25.10.05. (土) 市整会理事会 (帝人ファーマ)

H25.10.19. (土) 第38回南大阪骨折研究会 (大学主催)

H25.11.09. (土) 市大最新医学セミナー

H25.11.10. (日) 家族会 行き先は未定 6月に行き先を決める。

京都もしくは、伊賀上野方面の予定。

H25.11.16. (土) 市整会学術文化講演会 (梅田スカイビル) (日本臓器)

学術講演 「MRIによる関節軟骨、椎間板、神経の質的評価」(仮)

講師 帝京ちば総合医療センター 渡辺淳也准教授

文化講演 『空海について』-空海思想と政治- (仮)

講師 愛知腰痛オペクリニック 伊藤不二夫先生

H25.12.08. (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC

H26.01.11. (土) 市整会新年会 ANAクラウンプラザホテル (エーザイ)

H26.01.
会誌発行

H26.04.26. (土) 市整会総会 (旭化成ファーマ)

(6)

平成24年度収支計算書

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

1. 収入の部

科目	平成24年度予算額	平成24年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	5,130,000	5,340,000	210,000
第2項 特別会費	1	0	-1
小計	5,130,001	5,340,000	209,999
第2款 雑収入			
第1項 雑収入（預金利息、紹介状代）	2,000	7,333	5,333
第2項 寄付金収入	1	0	-1
第3項 その他の収入	1	670,000	669,999
小計	2,002	677,333	675,331
当期収入合計	5,132,003	6,017,333	885,330
繰越金	7,279,158	7,279,158	0
合計	12,411,161	13,296,491	885,330

2. 支出の部

科目	平成24年度予算額	平成24年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	400,000	85,548	-314,452
第2項 事務用品費	20,000	1,530	-18,470
第3項 渉外費	100,000	0	-100,000
第4項 事務弁償費	40,000	40,000	0
小計	560,000	127,078	-432,922
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	1,300,000	1,360,254	60,254
第2項 学術部	1,500,000	1,417,220	-82,780
第3項 福利厚生部	600,000	487,984	-112,016
第4項 広報部	500,000	698,555	198,555
第5項 税務部	30,000	0	-30,000
第6項 雑費	30,000	4,530	-25,470
第7項 学術積立金	400,000	400,000	0
第8項 40周年記念事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0
小計	5,360,000	5,368,543	8,543
第3款 慶弔費	250,000	20,000	-230,000
第4款 予備費	6,241,161		
当期支出合計	12,411,161	5,515,621	-6,895,540
次期繰越金		7,780,870	
合計	12,411,161	13,296,491	885,330

内 訳

1. 収入の部

会員	202名 (H24. 3. 31現在、閉院・閉院扱い25名、未納0名、1名2年分)	
	30,000 × 178 =	¥5,340,000
利息	医師信用組合普通	¥793
	三井住友銀行普通	¥540
	合計	¥1,333
紹介状代		¥6,000
その他の収入	学術講演会参加費	¥670,000

2. 支出の部

事務費		
第1項 通信費	FAXネット	¥74,618
	切手代等	¥10,930
第2項 事務用品費	印鑑、封筒代等	¥1,530
第4項 事務弁償費	総務	¥20,000
	会計	¥20,000
各部活動費		
第1項 総務部	会議費	¥206,200
	新年会バンド	¥200,000
	新年会全日空ホテル	¥408,697
	ホームページ管理費	¥118,860
	プレート代	¥309,750
	封筒・名簿印刷代	¥116,747
第2項 学術部	大学医局出張費援助	¥1,000,000
	文化講演(藤波氏)	¥250,000
	会場費 (H24. 10. 27)	¥45,000
	会議費	¥102,220
	日整会単位登録費	¥20,000
第3項 福利厚生部	市整会ゴルフ	¥487,984
第4項 広報部	会報等印刷代	¥682,395
	郵送費	¥16,160
第6項 雑費	振込手数料	¥4,530

(8)

平成25年度予算書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

1. 収入の部

科目	平成24年度予算額	平成25年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	5,130,000	5,190,000	60,000
第2項 特別会費	1	1	0
小計	5,130,001	5,190,001	60,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息等)	2,000	2,000	0
第2項 寄付金収入	1	1	0
第3項 その他の収入(学術講演会参加費等)	1	400,000	399,999
小計	2,002	402,001	399,999
当期収入合計	5,132,003	5,592,002	459,999
前期繰越金	7,279,158	7,780,870	501,712
合計	12,411,161	13,372,872	961,711

2. 支出の部

科目	平成24年度予算額	平成25年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	400,000	400,000	0
第2項 事務用品費	20,000	20,000	0
第3項 渉外費	100,000	100,000	0
第4項 事務弁償費	40,000	40,000	0
小計	560,000	560,000	0
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	1,300,000	1,300,000	0
第2項 学術部	1,500,000	1,500,000	0
第3項 福利厚生部	600,000	1,200,000	600,000
第4項 広報部	500,000	500,000	0
第5項 税務部	30,000	30,000	0
第6項 雑費	30,000	30,000	0
第7項 学術積立金	400,000	400,000	0
第8項 45周年記念事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0
小計	5,360,000	5,960,000	600,000
第3款 慶弔費	250,000	250,000	0
第4款 予備費	6,241,161	6,602,872	361,711
合計	12,411,161	13,372,872	961,711

監 査 報 告 書

市 整 会 殿

平成 24 年度市整会の歳入、歳出に付き、平成 25 年 4 月 11 日慎重
かつ丁寧に監査を実施いたしました。

監査の結果、適正に会計処理管理されていることを認める。

平成 25 年 4 月 11 日

監事 黒 田 晃 司 

監 査 報 告 書

市 整 会 殿

平成 24 年度市整会の歳入、歳出に付き、平成 25 年 4 月 16 日慎重
かつ丁寧に監査を実施いたしました。

監査の結果、適正に会計処理管理されていることを認める。

平成 25 年 4 月 16 日

監事

寺川文彦



平成25年度 市整会役員

会 長	鳴嶋 真人 (54)	()内入局年
副 会 長	安田 浩成 (54) 増田 博 (57)	
会 計	柳井 尚浩 (57)	
総 務	斧出 安弘 (56)	
名誉会長	伊藤 成幸 (25) 吉中 正好 (36) 長田 明 (38) 榎本 高明 (39) 南平 克積 (46) 頼 功 (49)	
顧 問	宮内 貴 (31) 上田 晏弘 (37) 吉川 秀明 (39) 黒田 晃司 (46) 楯 憲一郎 (52)	
議 長	前野 岳敏 (41)	
副 議 長	南平 克積 (46)	
監 事	寺川 文彦 (57) 黒田 晃司 (46)	
理 事	有馬 英之 (28) 松井 善邦 (31) 妻鹿 利和 (31) 吉田 洋 (31) 反田 英之 (33) 石崎 嘉昭 (37) 若林 亘 (38) 中野 博友 (39) 三明 靖昌 (39) 畠中 正昭 (40) 奥田 好彦 (44) 越宗 正晃 (44) 近藤 正樹 (46) 楠 正敬 (48) 林 正樹 (51) 吉田研二郎 (51) 西上 茂樹 (54) 増田 宗義 (54) 呉家 守二 (54) 飯田伊佐男 (54) 和田 健志 (54) 佐藤 哲也 (54) 中村 薫 (55) 宮脇 裕二 (55) 坂本 和彦 (56) 斧出 安弘 (56) 田中 直史 (56) 天野 祐一 (57) 馬野 隆信 (58) 柴田 和弥 (59) 阪本 博史 (59) 長濱 信一 (59) 古瀬 洋一 (60) 黒澤 克也 (60) 宮内 晃 (60) 上野 憲司 (60) 山下 豊 (61) 調子 和則 (61) 西澤 徹 (62) 伊藤 智康 (63) 小堀 肇彦 (H2) 湊 康行 (H2) 桑野 吉浩 (H4) 木下 裕介 (H7) 高尾 泰広 (H7) 森川献志漢 (H8) 小竹 志郎 (H11) 妻鹿 良平 (H11) 明石 健一 (H11)	
新理事(推薦)	大川得太郎 (62) 日下 昌浩 (H5) 鱧永 浩 (H7)	

役員職務分掌

福利厚生 担当副会長	安田浩成			
福利厚生担当理事	◎長濱 信一 湊 康行	○木下 裕介 上野 憲司	増田 宗義 大川得太郎 (新)	和田 健志 田中 直史
学術並びに健保・労災 担当副会長	増田 博			
学術担当理事	◎宮内 晃 佐藤 哲也	○小竹 志郎 明石 健一	西上 茂樹 飯田伊佐男	古瀬 洋一
健保・労災担当理事	◎天野 祐一	○伊藤 智康	坂本 和彦 馬野 隆信	
総務・広報 並びにIT委員会 担当理事	斧出 安弘			
総務担当理事	◎森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩 (新)	
広報担当理事	◎宮脇 裕二 山下 豊	○木下 裕介 桑野 吉浩	西澤 徹 高尾 泰広	小堀 肇彦 妻鹿 良平 黒澤 克也 鱧永 浩 (新)
IT委員会	◎森川献志漢	○小竹 志郎	宮脇 裕二 明石 健一	天野 祐一 調子 和則
諮問委員会	鳴嶋 真人 黒田 晃司 柳井 尚浩	楯 憲一郎 頼 功 宮内 晃	増田 博 安田 浩成 森川献志漢	榎本 高明 宮脇 裕二 長濱 信一 南平 克積 天野 祐一 斧出 安弘

家族会のお知らせ

~~~~八重の桜の京都観光~~~~

日時：平成25年11月10日（日）

今年の家族会は、京都観光を予定しています。京都は、近いのに、知らないことだらけの世界的観光地です。NHK大河ドラマ八重の桜の主人公である新島八重ゆかりの地として、建仁寺を観覧します。八重さんは裏千家の茶道教授の資格を取得後、自宅に茶室を作り、その時に知り合った建仁寺の竹田黙雷（たけだ もくらい）和尚との親交を深め毎週建仁寺に通っていたそうです。建仁寺は栄西が開山した京都最古の禅寺です。建仁寺は国宝、重要文化財の絵画、襖絵が豊富な寺で、有名な俵屋宗達の風神雷神図のある寺です。枯山水の庭園は竜安寺に負けない名庭と言われています。写真撮影基本的可能なお寺で、ベストショットを狙って下さい。お昼は京料理の名店である木乃婦で懐石料理を楽しんでいただきます。木乃婦の三代目・高橋拓児氏はテレビや雑誌で有名な京料理会の若手ホープです。食事後は、京和菓子づくり体験をしていただきます。手先の器用な整形外科医の本領発揮かもしれません？最後は錦市場で漬け物や京都の食材のお買い物をしていただく予定です。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞ家族そろって、家族会を楽しんで下さい。

（福利厚生担当 大川 得太郎）



自己紹介

整形外科はぶクリニック 鱧永 浩 (平成7年入局)

この度、大阪市大整形外科開業医会に入会させていただきました。平成7年に山口大学を卒業し、市大整形外科に入局、済生会中津病院、守口生野病院、新千里病院、愛染橋病院、えにわ病院、南和歌山医療センター、浪速生野病院、石切生喜病院と多く施設での勤務を経験できました。5年目の新千里病院勤務のころから、大学の脊椎グループへ参加させてもらうようになり、研究を中村先生に御指導いただき、実験に通ったりしていました。北海道のえにわ病院で脊椎を学び、何でもできるのではないかと錯覚して戻ってきましたが、そんな実力は当然ながらなく、その後反省を重ねつつ脊椎を中心に整形外科を勉強し、今に至ります。

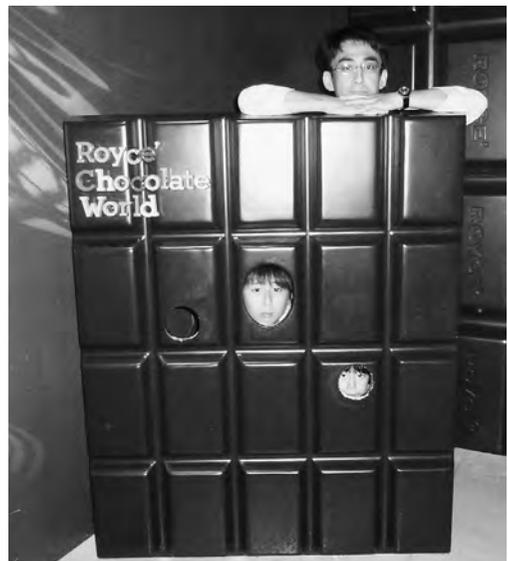
市大へ入局したころは開業などと考えも及びませんでした。両親がともに70歳を超えたのを契機に開業を決め、平成24年9月に東住吉区の近鉄

北田辺駅の高架下を開業いたしました。駅ホームの下にありますので、雨の日の通勤が便利です。(通常は自転車通勤ですが)

これといった趣味はなく、ゴルフもやりませんが、開業前に体を鍛えようと思い立ち、筋トレ、ストレッチ、ランニングをするようになり、今では体脂肪率が7-8%になり太りにくくなりました。走りはマラソンにできるほど真剣でもなく、景色を見ながら遅いペースで走るだけです。アレルギー体質のため花粉の飛ぶ季節は休んでいます。

市整会では広報の仕事をさせていただくこととなりました。まだまだ、人間が未熟で、患者さんと話していて、教えられ、気づかされることも多いです。

地域の方々に支えていただけるよう努力していると思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。



ガラパゴス島めぐり

藤原 良江 (昭和44年入局)

「ガラパゴス」ときいてすぐ思いうかべたのは、ダーウィンと「種の起源」である。教えている看護学校の学生に「来週からガラパゴスに行きます」といっても無反応であった。「ダーウィン」とか「種の起源」という言葉をおもいおこしませんかと問うても無反応であった。こういう言葉は60才以上の人に通じる言葉かと思ったことである。

「ガラパゴス」私にとって大変遠いところだった。南極へ行った時と同じくらい時間を要した。成田ーヒューストン(ナサ宇宙航空基地)ーキト(エクアドルの首都……ここで一泊)翌日国内線で1000km西の太平洋上、赤道帯の中にある島に飛んだ。(乗船時間4時間、飛行時間3時間)着後すぐバスに乗り15分後港に着きピンタ号に乗船…これがこれから一週間の宿泊所になるものだった。船は二人部屋24室(48人定員)クルー16人、バーテン一人で4階まであり、5階に操舵室があった。赤道線を通過する時は(2回通過)この操舵室に集まり器機を凝視していた。赤道通過時器機はきっちり0°を示し、その場にいた者はバンザイをしたのである。

毎日午前、午後2回ボートに乗って島に上陸し、種々の動植物を愛でた。

ガラパゴスは19の島から成る火山群島である。噴火をくり返した様である。しかし10年前噴火をみた島でも10年で島全体は緑につつまれ、山肌には3~4mの細い樹が多かった。人間が住んでいる島は三つ位だが、飛行場は二つの島の一つずつあった。しかしこのガラパゴスが独立国にはまざるらないだろうと思った。

- ①産業がない。
- ②観光で生きるには外来種の動植物がいつのまにか入り込み、その勢力下に在来種が滅亡するだろう。忽ちたちゆかなくなること必死である。(ここより広いハワイだって本国から基地使用料が入るのでうるおっているのではないかと思う。)

象ガメの悲劇

象ガメとは脚が象の脚に似ているので象ガメと名付けられた。象ガメは仰向けにしておかれても1ヵ月は生きるそうである。それだけ体内に水分を貯えているということです。象ガメの脂肪はランプの輝きが強く又長時間持つということで、ペルーやチリの海男に捕えられ、甲板に仰向けに寝かされていた。乱獲されそして絶滅に近づいた。そこでダーウィン研究所は亀を捕獲し数を増やしていった。五万頭になると一つの島に五万頭放した。そんな島が現在三つ位ある。皆さんは2012年

11月に死んだロンサム

・ジョージ君を覚えておられるでしょうか。ジョージ君は偶然捕獲されず生きのこりました。95才で死んだ。その頃この島より遠く離れた島で△△△君(どうしても名前をおもい出せない)はみつきり、ジョージ君と遺伝子が同系統であった。この

△△△君は偶然船から落されたか、放たれたかして生きのこったのであろうと思われる。

現在アメリカで種々調べられているということで見ることには出来なかった。又ある年ドイツ人が羊をつれて狩に来た。狩



ロンサム・ジョージ君



象ガメ



象ガメ

が終了後羊を島に遣していった。羊はたちまち頭数が増え、植物を食べ漁った。鈍重な亀は食べる物がなくなった。これも原因で亀が絶滅に近づいたのである。エクアドル政府は直ちに羊を全て殺生した。そうして亀は生きのこれたのである。だからガラパゴスでは外来種は動物に限らず植物も全て破棄するのである。今象ガメは順調に頭数を増やしている。今後19の島全部とはいかないが多くの島で象ガメをみる事が出来るようになるであろう。処で現在象ガメをみた時私達はカメラをかかえながら一列縦帯に並び、亀のおとおりを静かに眺めているのである。

イグアナのハイブリッド

ガラパゴスには3月の初旬に行った。この頃から陸イグアナは発情期に入る。そして雄は体の彩色が一段



海イグアナ

と映えるようになり、うすい黄緑にピンクの色がきれいである。その他にも何色かあるのだがこの二色が優勢である。顔はいかめしいが色は実に美しかった。体も結構大きかった。体長が80cm位、尾長が70cm位で計150cm大である。体も結構丸く30kg重は優に有ると思われた。一方海イグアナの成獣も同じ位の大きさであるが、海イグアナはエサの海草により色が分れる。緑の海草ばかり食べるのは黒一色である。反対に燕脂の海草を食べるのは燕脂色をしている。この燕脂色をしたのを陸イグアナはメスと勘違いをして交尾をする。そして産れたのがハイブリッドと呼ばれる。ハイブリッドは海にもぐれず若死をするので成獣には会わなかった。

海イグアナは世界中で唯一泳ぐ事が出来るトカゲといわれている。海中では心拍数を下げるなどして体の生理機能が水中生活に適応できるまでに進化したといわれている。海イグアナは30~40分海にもぐり海草を食べ浮上してくる。それ以上海水中にいると体温が下がりすぎ生命の危険にさらされるのである。浮上してくると陽を受けている岩にはいつくばり冷えた体を暖める。この繰返

しである。私達は彼等の側を10cm位しか離れずフンをふまないように歩くが彼等はじっとしている。

海も陸イグアナもいかめしい顔をしている。この動物達は交尾中もこんないかめしい顔をしているのだろうかと思ったが交尾中のものには出会えなかったので不明である。

海イグアナは幼少のものから成獣まで数多くみたが、陸イグアナは幼少のものやメスはみていない。鮮やかな雄のみ数10尾みたにすぎない。

海岸の清掃人 カニ

ごつごつした岩の海岸を歩くとキレイな赤いものが動いている。よくみるとカニであった。小さいものか



カニ

ら12~30cm巾のものまで結構いた。カニが海岸の清掃人とは、初めて知った。生物の死骸を眼にしないのは、このカニが死肉を食べつくすからである。日本に帰ってこの話をするとう海辺育ちの人はこのことを知っていた。知らぬは私ばかりかと思いついたことである。

ぐんかん鳥

雄は喉の赤い袋をパンパンにふくらませて求愛活動をする。その20~30m上空を雌は飛来する。雄は時に



ぐんかん鳥

「クオーッ」と叫ぶが雌はそのまま行きすぎる。あちこちで縦30cm巾18cm位に喉をふくらませた雄が2~3羽ずつかたまっているのをみた。雌雄一緒にいるのは2ヵ所だけだった。鳥の世界も男は結婚難らしい。

(16)

ガラパゴスペンギン

世界中で18種類いるペンギンのうち三番目に小さい(体長30cmくらい)。フンボルト寒流に乗ってマゼランペンギンがたどり着いたと言われている。溶岩の隙間に巣を作る。近年続発するエルニーニョ現象の影響で生息数が激減したと報告されている。



ガラパゴスペンギン

ガラパゴスコバネウ

澄んだグリーンの眼を持つ世界で唯一羽が退化し、飛ぶことをやめてしまった鳥である。海中ではすばやい速さで泳ぎ回り、小さな動物アナゴ、タコなどを獲る。オスメスが共同で抱卵と子育てを行う。

その他アオアシカツオ鳥、アカアシカツオ鳥、



アオアシカツオ鳥



アカアシカツオ鳥

アシカ、オットセイ、フラミンゴ、ダーウィンフィンチ、ノスリ、ヨウガントカゲ、ペリカン……と観察した。

海がきれいで泳ぐことを楽しみにしていた人はシュノーケルを十分楽しんだ。私は泳げないのでその時はグラスボートに乗り海底を泳ぐ魚を観て楽しんだ。深いところでは30m位の深さまで見えた。エイ(2種)、サメ(90cm長位、これくらいだとまだ子供なので人間をおそうことはない)、ヒトデ、パイプウニ、イエローテイル、キングエンゼル、etc…エイ(マンボウ)が25体位が集団で浮遊しているのも見学した。

帰途ヒューストンで一泊し、ナサ宇宙航空基地を見学した。巨大な宇宙船を宇宙にとばすその推進力を考えて、人間の知恵の集積の力を思った。

今ガラパゴスは私にとって遠い国ではない。数々の生物も身近になりすぐ思い浮かべることが出来る。しかし二度と訪れることはないと思う。旅費もバカにならないし、日数も要する(13日間)。職場がそれほど休ませて下さるわけでもない……



アシカ：一匹の雄が雌2頭くらいを従えて集団を形成している。雌の子供たちは数の内に入っていない。どこからか若い雄が近付くと、集団の頭の雄は猛然と立ち向かい追い払う。雌どもはじっと見ているだけである。



ヨウガントカゲ

くるま道楽7

阪本 博史（昭和59年入局）

この時期の、車事情。

『ガラ軽』

ガラパゴス携帯になぞらえた、日本の軽自動車のことです。

660ccという、日本独自の規格でボディサイズも決められている、特殊な車たちです。もともと、日本の道路、家庭事情に合わせた、税制の優遇も伴わせた、世界からみれば、異様な車種です。自動車保有税が¥7200と、小型自動車の約1/4で、人口10万人未満の都市では、原則、車庫証明が不要で、手に入れやすさがメリットの車です。価格は、130万円くらいで、決して1000ccクラスの小型車に比べ、安いとはいえませんが。

1990年代は、全車台数の20%くらいのシェアでしたが、今年は、すでに新車登録台数の37%を超え、4割に達する勢いです。5月の新車登録ベスト10のうち、7台は軽自動車、3台はハイブリット車でした。

元々、軽自動車のエンジンは、360ccでしたよね。ナナハンの半分でよく走るよと感心したものです。

似たような海外の小さなくるまとしては、FIAT500(875cc、269万円) VW UP(999cc、149万円) タタ ナノ (624cc、28万円インド) など。大きさも、装備もまったく異なるので、比較になりません。

しかし、日本の『軽』は、すごい装備です。エアコンはもちろん、雨滴感知ワイパー、衝突予防センサー、オートウインドウ、キーレスエントリー、パワーハンドル、燃料キャップオープナー、トラ

ックオープナー、UVカットガラス、バック誘導モニター、アルミホイール、カーナビ、小物入れたくさん……お化粧用の大きな鏡まで運転席サンバイザーの裏にライト付きで装備されています。あの、クラウンの装備と比べても、遜色無いオプション装備の品揃えで、奥さんを喜ばせる充実装備です。クラウンにあって、『軽』に無いもの??? クルーズコントロールくらいかな?

〔軽が増えたら、ディズニーランドが儲かる〕

『軽』が増える→駅まで送り迎えの奥様が増える→路線バスの利用者が減る→路線バスの本数が減る→バスの運転手が失職する→零細バス会社へ転職する→ディズニーランド行きの格安バスツアーが増える→ディズニーランドの客が増える→ディズニーランドが儲かる。

【ノスタルジックヒーロー】

今回は、日本のラリーカーの先駆けとなったくるまです。

『NISSAN DATSUN 510』

〔栄光への5000キロ〕、石原裕次郎主演の東アフリカサファリラリーのお話です。日本製の車、物が、安かろう悪かろうの時代に、頑丈な小型車をアピールするには、ラリーが最適だったのでしょう。5社協定からはみだした、独立プロの作品で、3時間超という上映時間の長さが、一般の映画館に嫌われ（一日の上映回数が少なく、元がとれないとの判断）ヒットしたものの、興行収



(18)

益が上がらず、石原プロを借金まみれにした作品です。

昭和42年から昭和47年まで、L13の1296ccからL18の1778ccまで、さまざまなバリエーションのエンジンを組み込んだ、世界戦略車でした。スーパーソニックラインと呼ばせたいやみの無いスタイルで、北米で大ヒットし、「ブアマンズBMW」といわれたそうです。

東アフリカサファリラリーでは、1969年(17回)にポルシェに乗るはずのドライバーが、車両トラブルから、急遽、DATSUN510に乗ることになり、総合5位に入賞しました。弱小新興ラリーチームなどには、乗ってくれそうも無い一流ドライバーが偶然乗ってくれた為に優秀な成績を得られた幸運です。1970年(18回)は、本当に総合優勝に輝き、次回(19回)は、「日産なんかに優勝させてたまるか」という欧米の思惑から、高速巡航が必要となるコース設定にされました。DATSUN510の非力だが丈夫なエンジンの高速走行が苦手という弱点をついた、コース変更でした。しかし、日産もしたたかで、予想に反し、510は使わずに、2000ccの240Zを出場させ、高速コースを走りぬき、またまたクラス優勝を成し遂げます。やはり、高度成長期は、日本は世界の嫌われ者だったんですね。

臙脂色のボディーに黒のつや消しのボンネット、日産定番のサファリラリーカラーです。

(写真参照)

【今回お薦めのくるま】

『軽』でしょ。今でしょ。

最近発売になった『軽』なら、どれでも同じです。

売れ筋は、ムーブ、N-BOX、ワゴンR、ミラ、

TANTO、でしょうか。日産のDAYSもぼっと見た感じ、エルグランドみたいで、いいかもしれません(三菱製ですが)。

燃費ですが、35km/lとか、25km/lとか言っていますが、殆ど、アイドリングストップでの話ですので、まず、その半分の燃費とっておいた方がいいでしょう。4月に、患者送迎用にTANTOを買ったのですが、室内はとてつもなく広く、エアコンも良く効き、燃費は12km/lくらいで、アイドリングストップですので、シグナルグランプリさえしなければ、十分すぎるくらい、いいくるまで。家族5人で、回転寿司に行くのに最適です。

最近は、もっぱらジオラマ作りに没頭しています。写真は私が作ったジオラマです。安上がりな、『おとなのおもちゃ』です。今までに所有した『くるま』をすべて、並べるのが当面の目標です。



大阪バスケットボール協会からのお礼とお願い

日下 昌浩（平成5年入局）

このたびは、大阪バスケットボール協会医科学委員会による"バスケットボール協会所属の選手の障害・外傷調査"にお力添えを賜りありがとうございました。

わたくしども大阪バスケットボール協会は、他府県と異なり、大阪府では無く大阪と銘打っております。これからも以前の大阪都のように日本をリードできる団体として頑張りましょうをスローガンに命名されたと同っております。今後も医科学をはじめ各部会が一丸となって、バスケットボールを通して社会への貢献を目指しております。桜宮高校では残念な事件も発生しました。今後、学生指導には暴力によらないことを第1に考え、種々の改革を行ってまいります。

また医科学につきましては、わたくしが入会して10年目に初めて調査についての許可が下りました。最低でも5年間は実行予定です。これから調査が定着できるように、頑張っております。このたび、30数医院から援助を賜りました。この結

果、指導者にお近くの整形外科を認知いただける結果となり、選手への利益ははかり知れません。ぜひ、今年度の調査票作成時に多くの整形外科の先生方に御賛同いただき、調査票最終ページの"近くの整形外科クリニック"の項目で大阪府全地域の整形外科クリニック名が掲載できるように御尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、本年度の回収率は、高校は400校中199校、中学は599校中0校、ほかとなっております。特に中体連につきましては、なかなか御理解を得るのが難しい団体ですが、今回は、特に会長と理事長よりの叱責があったようで、来年以降の回収率が楽しみです。内容につきましては本年10月の日本臨床スポーツ医学会に現在entry中です。データにつきましては解析でき次第医科学のHPに掲載予定です。オープンアクセスです。データ処理終了まで今しばらくお待ちいただきます。

祝！2014ブラジルW杯出場！！

木下 裕介（平成7年入局）

市整会の先生方、いつも大変お世話になっています。今回もサッカーに関する僕の独り言につき合ってもらおうと思います。よろしく願いいたします。

ご存知のように、6月4日の対オーストラリア戦で5回連続5回目のW杯出場を決めてくれました。大変嬉しいことであり、また一つ楽しみが増えました。しかし、日本国民のかなり多くの方が、W杯に出場して当たり前と思っているかも知れません。日本が初めてW杯予選に参加したのは1958年の第6回スウェーデン大会で本大会初出場は1998年の第16回フランス大会です。従って約40年間アジアの地区予選で敗退しており、本大会出場への道のりは非常に厳しいものでした。そう考えるとここ25年で日本サッカーは凄まじく進歩してきたと思うし、これからももっと進歩していこうと期待しています。

また韓国、オーストラリア、イランも出場をきめました。中東情勢が安定しない今、アジアのサッカーを牽引していくのは日本・韓国・オーストラリアの3カ国です。アジアサッカーの成長を世界に知らせるためにもこの3カ国の内2カ国は決勝トーナメントに進出してもらいたいです。

今、6月23日朝6時10分、コンフェデレーションズカップグループリーグ第3戦、メキシコ戦が終わり結果は0-2で負けました。トータル3連敗での敗退です。もともとコンフェデレーションズカップは当時アジアカップの覇者であったサウジアラビアが各大陸別選手権の覇者と試合をする目的で1992年から始まった大会です。当時はFIFA主催の大会ではなくサウジアラビアが運営していました。1997年の第3回大会からFIFAが運営することになり、この大会から6大陸すべての大陸別選手権の優勝国が参加するようになりました。今ではW杯の1年前にW杯開催国で各大陸別選手権の覇者、W杯開催国と1カ国の招待国の8カ国で行われており、W杯本番の絶好の

シミュレーションとなっています。また招待国は前回W杯の優勝国などが選ばれています。

今回日本は、ブラジル・イタリア・メキシコと同じグループに入りました。日本にとって非常に良い（勉強になる）グループになったと思います。この3カ国全く異なる特徴を持つ強豪国です。個の力で他を圧倒するブラジル、1点を守り切って勝つ守備の堅いイタリア、パスワークと組織力で粘り勝つメキシコと言ったところでしょうか。ブラジル戦は完敗です。例年この時期（W杯予選期間中）のブラジルはあまり強くない印象があります。それはブラジルの選手は世界中に散らばっているためチームとして十分練習できていないためです。素晴らしい技術を持った選手の単なる集合体で組織として機能していないことが多く予選を通じ組織力を高めることにより完璧なチームと成長していきます。でも今回は違っていました。個のレベルが高すぎます。W杯では同じグループに入らないことを祈ります。

イタリア戦はメディアでも放送されていた様に善戦しました。イタリアは、前回W杯で1勝もできずグループリーグ敗退しました。それからは完全に立ち直っています。欧州選手権準優勝（優勝はスペイン、スペインは前回W杯優勝国として出場）で招待国として出場していました。イタリアのサッカーには特徴があり、①非常に高い守備力を持ち失点が少なく②チームの中心となるゲームメーカーが存在し③ここ一番得点する決定的なアタッカーが存在し守り切ったからのカウンターで得点します。逆に言うところある程度は攻めさせてくれます。今回日本が善戦したように思えるのもこのイタリアのスタイルのためかも知れません。しかしイタリア相手に3点取ったのは事実で評価に値すると思います。

次にメキシコ戦、また負けた、そろそろ勝ってもいいのに。と言うのが感想です。このメキシコという国、なぜ日本が勝てないのか不思議です。いつもそうなのですが、突出したスター選手がい

るわけではなく、強烈なストライカーがいるわけでもなく、体も大きくないです。昨年のオリンピックでも1-3で負けています。個の技術、組織力、高さ、スピードなどサッカーに必要な要素すべてにおいて、日本は負けていません。でも勝てません。メキシコは前回W杯まで5大会連続17回W杯に出場しており最近の5大会すべて決勝トーナメント（すべてベスト16）に進出しています。確かにサッカー強豪国ですが、世界のトップクラスではないのも事実です。このメキシコから確実に勝ち点をもぎ取れるようになった時、世界の強豪国の仲間入りが出来るように思います。

今回のコンフェデレーションズカップで確認できたことや今後の課題がいくつかあります。日本のスタメンは現状で望むのがベストだと思うのですが、スタメンが固まり過ぎているのが問題のように思います。ゲーム途中で投入してもらいたい選手は何人かいます。中村、清武、乾選手らです。中村選手はパスラーとして、清武、乾選手は得点力のあるドリブラーとしてゲームの流れを変える事が出来る選手だと思います。しかし投入してもあまり変化が見られないのが現状で、彼らを投入したときに本田、香川選手とどう絡めるのか確認することが重要だと思います。時に香川、清武、乾選手は元々セレッソでめまぐるしいパスワーク

と得点力を誇っていました。彼らに本田選手をどう絡めるか、また両サイドバックをどう絡めるかです。違った攻撃パターン、得点シーンが生まれると思います。

次に日本の高さは世界に通用するか？です。現状はなかなか厳しいものがあります。FWの控えにハーフナー・マイク選手がいます。確かに彼の高さは魅力的です。しかし、彼を投入したときに高さを生かしたサッカーを展開しているかというところと全くしていないと思います。彼が出てきたときには、前線にボールを供給しボールをコントロールしてもらいシュートを打つ、このパターンが欲しいと思うのは僕だけでしょうか？

この大会で代表は一旦解散となります。次は7月20日から始まる東アジアカップ（韓国）に臨むことになります。日本、韓国、オーストラリア、中国の4カ国による総当たり戦です。この大会では国内選手中心で望む事になると思います。日本にとれば新しい選手の発掘の大会になると思います。特に長谷部、遠藤選手の後継者になる選手や新しいアタッカーの登場に期待をしたいと思います。

兎にも角にもブラジル行きは決まっています。ブラジルでは今まで以上の成績、出来ればベスト4以上を期待したいと思います。



京都 錦市場で食欲を満たす。

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今年は市整会家族会で京都へ乗り込むということを伺っております。11月の京都といえば、観光を除いて考えるとやはり食欲をいかに満たすかということに大阪人としてはつきると思います。今回は四条烏丸の"木乃婦"で京懐石を味わうということで、この時期は松茸がメインになります。どれくらい出るのかな？ここはあまり大阪には知られていませんが、京都の人たちには極めて評価の高い店です。11月だとまだ鱧しゃぶが食べられるかもしれません。淡路島で食べる鱧しゃぶと違って、京都の鱧しゃぶの本道は、松茸、鱧、豆腐とみつ葉くらいしか入れない鍋です。出るのかな？あるいはフカヒレ鍋なのかな？最初に出てくるトロのにぎり寿司に驚くかも？以上は私が何回かこの店に行って勝手に空想したメニューですので、信憑性はあまり無いことを付け加えておきます。



(写真1) 麩嘉

さて、家族会の旅行のコースの一つに京都の錦市場巡りが予定されています。錦市場は京都の台所といわれましたが、最近では観光客が増加して、そうでなくても狭い通路が人ごみでいっぱいになっています。黒門市場の幅の半分くらいしか無い感じです。食べながら歩いている人が多数いるので、服を汚されないように注意して歩きましょう。

麩嘉：麩まんじゅうで有名です（写真1）。

打田漬物：ここの漬物おすすめ（写真2）。

有次：刃物屋さんです。包丁の研ぎ方も教えてください。

川政：新鮮な野菜を買うならここ。京野菜を買ってかえりましょう。

ちんたら：京都で七味といえば七味屋と原了郭の黒七味が有名ですが、私はここの七味の方が昔的でいいと思います（写真3）。

魚力：鱧の照り焼き、鱧の天ぷらなど、串を左手に持って右手に缶ビールで市場内を歩かないようにしましょう（写真4）。

三木鶏卵：ここの出し巻き卵が特に有名です。近所に同様の店が多数ありますが、本家はこちらです。

大島履物店：なんとレトロな店ですが、草履、スリッパは阪急百貨店の約半額。

ちんたら近くの寺子屋さんというおかき屋さんです。錦市場に行ったら、是非是非、食べてほしいののが、柔らかい"おかき"、ぬれおかきです（写真5）。

あとは錦市場でテレビによく紹介される、藤野の豆乳アイスなどでしょうか？私は食べたことはありません。京都の豆腐といえばやはり森嘉で、買うには嵯峨野まで行かなくては



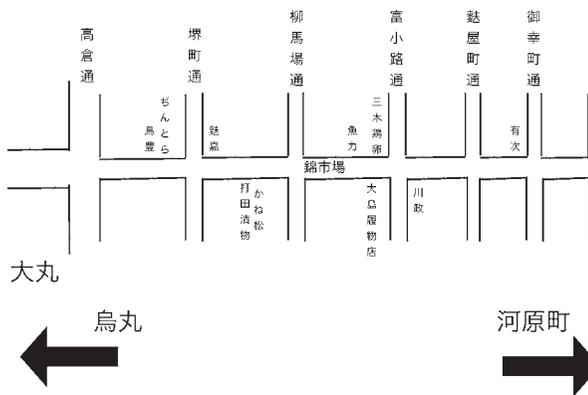
(写真2) 打田漬物



(写真3) ちんたら

ならなかったのですが、大丸京都店の地下食料品街にて購入することはできます。ただし、午前中でほぼ売り切れてしまいます。今回のツアーでは購入は無理と思います。もし新鮮な野菜を安く購入希望でしたら、少し足を伸ばして、錦市場から5分くらい歩いた所に、八百一本館という大きな野菜専門のスーパーがあります。ここは高島屋難波店の野菜コーナーに野菜を入れているところです。ただし、なんばよりも種類が多く遥かに安いようです。

以上思いつくままに書きましたが、あとは簡単な地図にプロットしておきます。



(写真4) 魚力



(写真5) 寺子屋

編集後記

サッカー日本代表のワールドカップ出場が決まってほっと胸を撫で下ろしたというのが本当の意見かと思えます。コンフェデ杯の実力差をこれからしっかりと埋めていってほしいものです。

さて藤原先生と阪本先生の投稿でガラパゴスが話題になっています。ガラパゴス化とはウィキペディアによると日本で生まれたビジネス用語のひとつで、孤立した環境（日本市場）で「最適化」が著しく進行すると、エリア外との互換性を失い孤立して取り残されるだけでなく、外部（外国）

から適応性（汎用性）と生存能力（低価格）の高い種（製品・技術）が導入されると最終的に淘汰される危険に陥るといふ、進化論におけるガラパゴス諸島の生態系になぞらえた警句と言えます。われわれもガラパゴス整形外科といわれないうちに、エリア外との互換性を重視して、このために市整会があると思うのですが、淘汰されないように心がけなければなりません。

広報 宮脇裕二